

第4回書文協臨書展実施要項

多摩川上流・鵜の瀬溪谷（東京都青梅市沢井）に、日本寒山寺という無住の寺があります。昭和の初期、中国・江蘇省の著名な禅寺、寒山寺の希望を受けて、地元篤志家らが創建しました。寒山寺にある漢詩「楓橋夜泊」の碑文、鐘つき堂も蘇州と同じ姿で建っています。中国や日本の古典を書く臨書は書を学ぶ人の基本でもあります。また、この臨書展は隣国の文化を理解する格好の場所としてこの地を知っていただくことを願い、下記の通り開催するものです。どうぞご応募ください。

主催 一般社団法人日本書字文化協会

後援（予定） 東京都青梅市日本中国友好協会、中国書法学院
国際芸術家連盟、NPO 法人日中友好交流促進会
蘇州・寒山寺、中国国立南京芸術学院日本校、蘇州吳昌碩研究会

作品〆切 平成31年3月25日（月）必着

応募資格 全部門とも年齢不問

募集部門

◆**臨書の部（1）** 高校教科書掲載の臨書教材から4文字以上

◆**臨書の部（2） 常設課題** 張継作 漢詩「楓橋夜泊」の起承転結の1句以上

月 落 烏 啼 霜 滿 天
江 楓 漁 火 對 愁 眠
姑 蘇 城 外 寒 山 寺
夜 半 鐘 聲 到 客 船

◆**楷書書写の部** 半紙ないし八ツ切

・ **1字** 次のうちどれか1文字

月 滿 天 漁 火 城 外

・ **2字** 漁火

・ **3字** 寒山寺



手本 指定課題の部は漢詩・楓橋夜泊の拓本をA3判に複写したものを、楷書漢字の部の手本（大平恵理揮毫）はA4判で計9枚。手本はいずれも1枚当たりA4判100円、A3判200円。希望者は送料100円を加えた相当額分の切手を添えて、書文協本部臨書展係りに申し込んでください。

出品方法 ①作品に出品票を貼付する（出品票には出品券を貼付）
②応募総括用紙、応募明細用紙を添付
※①②は書文協ホームページからダウンロードまたは、書文協にご請求。
※出品料をお振込みの上、その受領証またはコピーを応募総括用紙に貼付して下さい。

出品料 臨書の部は1点1,080円（幼児・小中学生は756円）
楷書書写の部 同756円（幼児・小中学生は540円）
個人出品は一律1点1,620円

振込先 一般社団法人日本書字文化協会
記号00130-1 番号728113

賞 大賞（臨書の部1・2から）、日本書字文化協会会長賞
青梅市日中友好協会会長賞、日中文化交流促進会理事長賞
優秀賞

審査員 加藤東陽（書文協中央審査委員会委員長、東京学芸大名誉教授、
日本武道館書写書道審査リーダー）
加藤堆繫（同委員会委員、東京学芸大学教授、
前文部科学省教科調査官）
豊口和士（文教大学教授、文部科学省教科調査官）
大平恵理（日本書字文化協会会長）

作品提出先 〒164-0001 東京都中野区中野2-11-6
丸由ビル3階、書文協本部
電話 03-6304-8212 FAX03-6304-8213
書文協ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

ご挨拶 渡邊啓子 臨書展実行委員長（書文協副会長）

漢字は3300年前、古代の中国で生まれ3世紀ごろ日本に伝来しました。文字を持たなかった日本民族は、漢字から仮名を生み出し、漢字・仮名交じりの日本語が出来上がったのです。日中はまさに同文の隣国なのです。

また、臨書は書写書道の大事な学びです。

日本寒山寺を抱く沢井の地を舞台に、臨書の楽しさを体験してください。開催にご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



写真は日本寒山寺